

琉球大学病院 がんセンター  
令和2年度（2020）がん患者等支援事業

# がん情報及び地域がん医療説明会 「もしも渡嘉敷島でがんになったら」 に関する報告書

2020年9月24日



地域の療養情報「おきなわ がんサポートハンドブック」の刊行に際し、本書の活用説明会を渡嘉敷島で実施した。渡嘉敷村におけるがん医療の在り方について、渡嘉敷村長・関係者らと協議した。

また、講師をされる県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡嘉敷診療所の医師とも同様の協議を行った。

その後、地域の住民を対象にがん情報提供の講演会および相談会を実施した。

■渡嘉敷島におけるがん医療の在り方についての協議

(南城市役所)

日 時：令和2年9月24日（木）10：00～11：10

場 所：渡嘉敷村役場

出席者：渡嘉敷村 村長	座間味 秀勝 様
渡嘉敷村役場 総務課 課長	金城 満 様
渡嘉敷村役場 保健師	尾崎 リサ 様
琉球大学病院がんセンター センター長	増田 昌人
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員	東 啓子

(県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡嘉敷診療所)

日 時：令和2年9月24日（木）12：00～13：00

場 所：渡嘉敷診療所

出席者：渡嘉敷診療所 医師 山城 啓太 様	
琉球大学病院がんセンター センター長	増田 昌人
琉球大学病院がんセンター 事務補佐員	東 啓子

■がん情報及び地域がん医療説明会「もしも渡嘉敷島でがんになったら」

日 時：令和2年9月24日（木）18：00～19：40

場 所：渡嘉敷村 中央公民館

参加人数：29人

内 容：(1) 講演「がん情報のさがし方勉強会 in 渡嘉敷島」  
琉球大学病院 がんセンター長 増田 昌人

(2) 講演「久高島のできるがん医療」  
県立南部医療センター・こども医療センター附属  
渡嘉敷診療所 山城 啓太 様

(3) 質疑応答

■個別相談

日 時：令和2年9月24日（木）19：35～19：50 ※講演会終了後

場 所：渡嘉敷村 中央公民館

相談者：1人

※感染対策として、入場時に、入口にて手指のアルコール消毒、受付で検温・体調確認・連絡先の記入をお願いした。記入用ボールペンは、“消毒済”と“使用後”の分けて設置し、常にアルコール拭きで消毒したものを使用してもらうようにした。また、席は間隔を空けて1席ずつ配置し、資料も事前に席へ配布しておいた。会場内はエアコンを使用したが、窓や扉を解放して換気するようにした。



**国民の2人に1人はがんになる時代です。**  
**いざというとき、自分の納得いくかたちで**  
**病気と向きあうために、がん治療の現状も**  
**交えながらお話しします。**  
**もしもに備えて考えてみませんか？**  
**どなたでも、お気軽にご参加ください。**



# もしも渡嘉敷島で がんになったら




**がん専門医が伝える  
病院・診療所の上手なかかり方**



**【説明会】**

※終了後、希望者には医師による個別がん相談対応あり

琉球大学病院 がんセンター長  
増田 昌人

県立南部医療センター・こども医療センター附属

- ・渡嘉敷島でできるがん医療について 渡嘉敷診療所 山城 啓太先生
- ・病院のかかり方、情報の集め方 琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人

**日時：9月24日(木)午後6時～7時30分(午後5時半開場)**

**場所：渡嘉敷村 中央公民館**

対 象：渡嘉敷村にお住まいのみなさん 参加費：無料

主 催：琉球大学病院がんセンター 沖縄県がん患者等支援事業



◆◆◆ 新型コロナウイルスの状況により延期や中止の場合もあります ◆◆◆

内容に関するお問い合わせ：琉球大学病院 がんセンター ☎ 098-895-1531

- 広報手段：渡嘉敷村役場の協力で、チラシを全世帯へ配布  
 公民館及び診療所、島内掲示板へのポスター掲示  
 防災無線による島内放送  
 渡嘉敷診療所による来院者への周知

増田先生スライド表紙など

**がん情報のさがし方勉強会**  
in 渡嘉敷島

「おきなわがんサポートハンドブック」  
「がん患者さんのための療養場所ガイド」

琉球大学病院 がんセンター  
増田 昌人

山城先生スライド表紙など

**渡嘉敷でできる**  
**がん医療について**

2020年9月24日  
渡嘉敷診療所 山城啓太



**がんに対する情報をどこで得るか？**

1. **主治医やその他の医療者から、情報をとことん得る**
  - ・主治医や担当看護師等の医療者は、患者さんの状況に基づいて、最も適切な情報を提供してくれる存在
  - ・本当に必要なのは、患者さんの現在、または将来の状況に基づく、個別化した情報であり、一般的な情報ではない
2. **別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用する**
3. **がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」を活用する**
4. **書籍**を活用する
  - ・推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する  
(詳細は後述)
5. **インターネット**を活用する
  - ・推奨できるものは限られているので、信頼できるもののみを閲覧する  
(詳細は後述)

2020/9/24      がん情報のさがし方勉強会in渡嘉敷島      3



**もしあなたが **がん** になったら**

これまで想像したことがありますか？

**最後に**

1. 万が一の時に備えて、
  - (1) 再発した場合のこと
  - (2) 治療が難しくなった場合のこと
  - (3) 最期を迎える場所（自宅 or 本島の病院）を、家族や大切な人と相談しておく
2. 相談して決めたことを、紙に書いて、日付と署名と印鑑を押しておく

\* がんになってもならなくても、普段から自分自身がどのような医療を望むのか、人生の最期はどのように迎えたいのかを考えておくこと、その考えを家族や大切な人に伝えたり、相談したり、理解を得ておくこと、その結果を文書に残しておくことは、とても大切なことだと思います  
(≒ **アドバンス・ケア・プランニング**)

2020/2/20      がん情報のさがし方勉強会in久高島      29

**様々なサポートがあります**

**がん相談支援センター**

今年はおきなわが表紙になっています！

- ・電話や面談で相談できる（無料）
- ・がん相談専門スタッフが対応
- ・琉大、県立中部病院、那覇市立病院など

**がんピアサポート相談室**

- ・がん経験者やその家族と相談
- ・病気や治療、仕事や経済的な不安など

**患者会**

- ・患者同士で悩みを共有・情報交換

2020年表紙 / 琉球大学病院 がん相談支援センター

地域の療養情報

**おきなわがんサポートハンドブック**

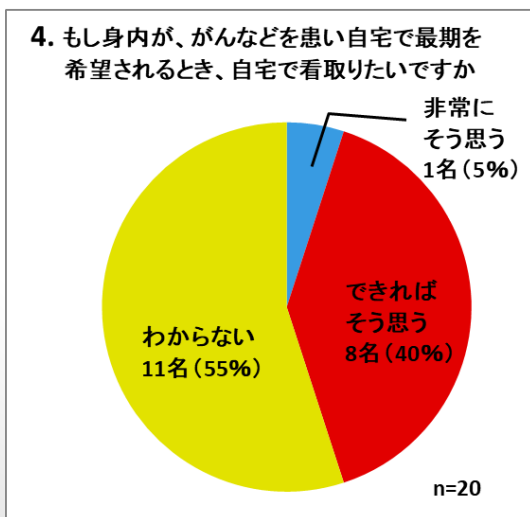
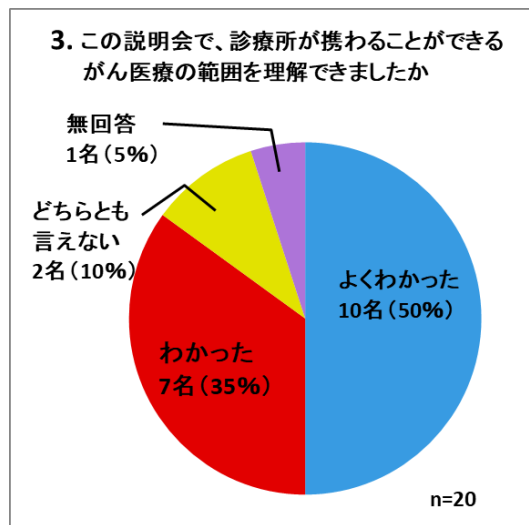
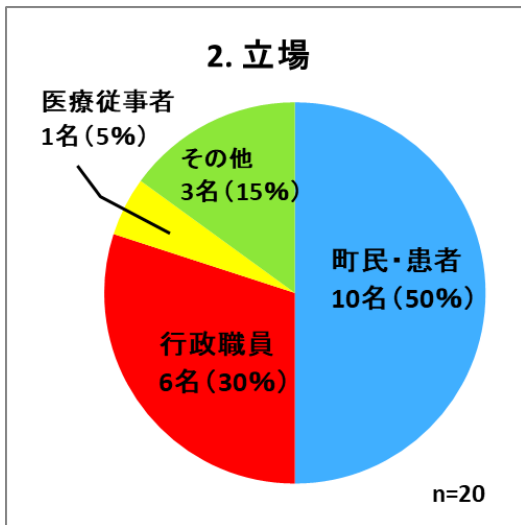
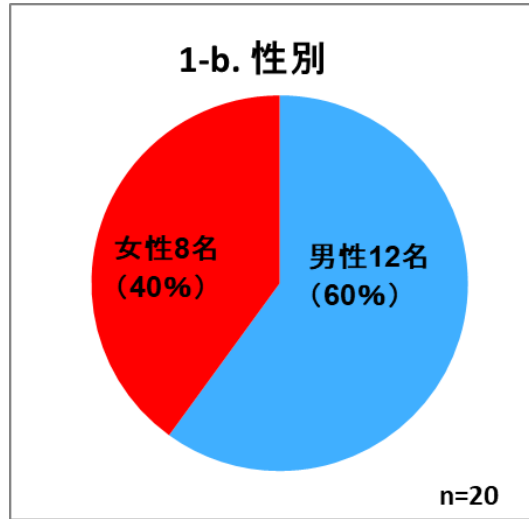
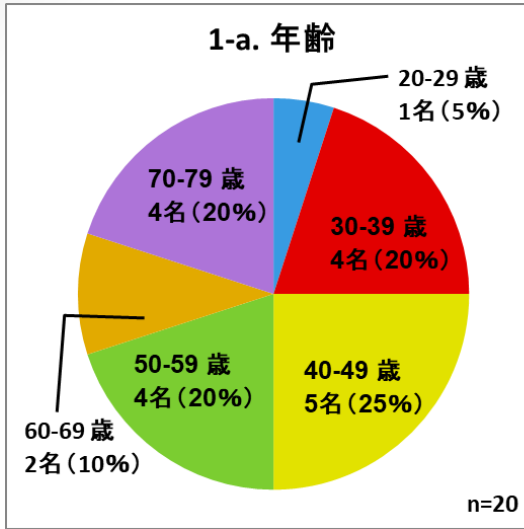
支え合う、あなただけ大切な人たちのために





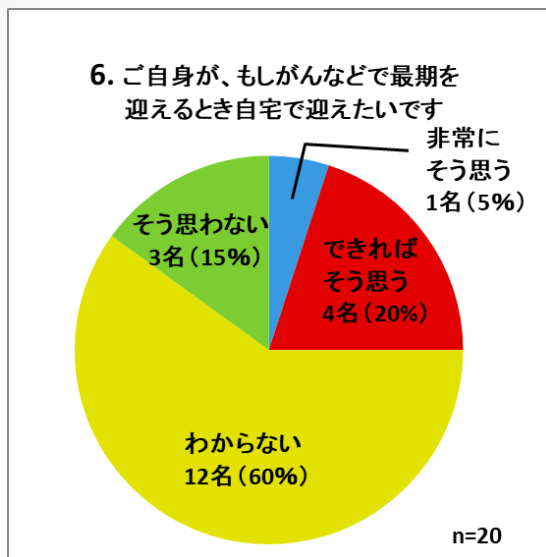


参加者29人 アンケート回収20人 アンケート回答率69%

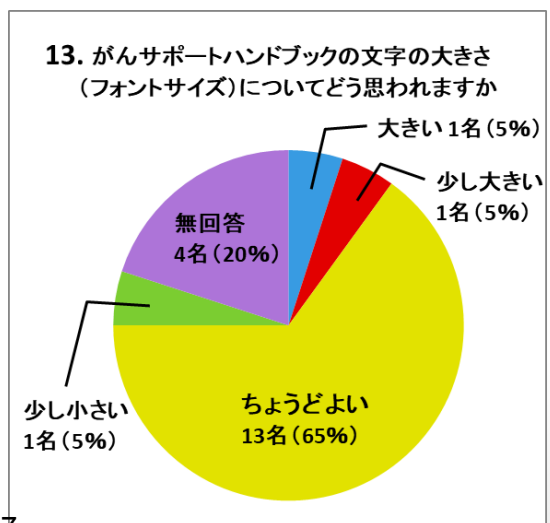
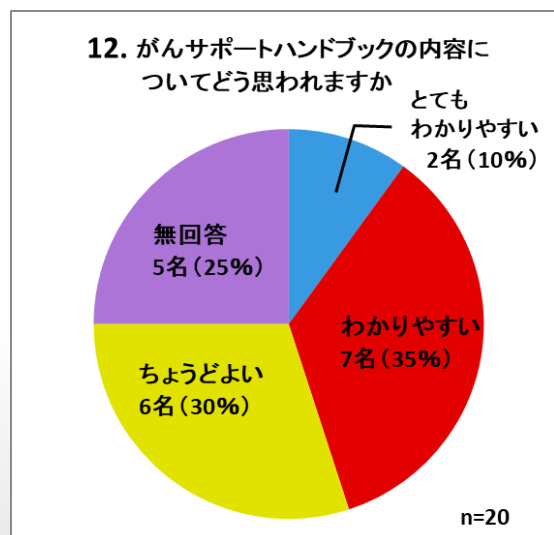
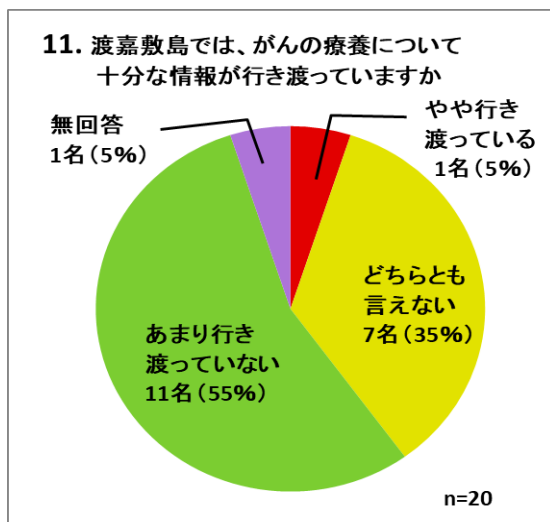
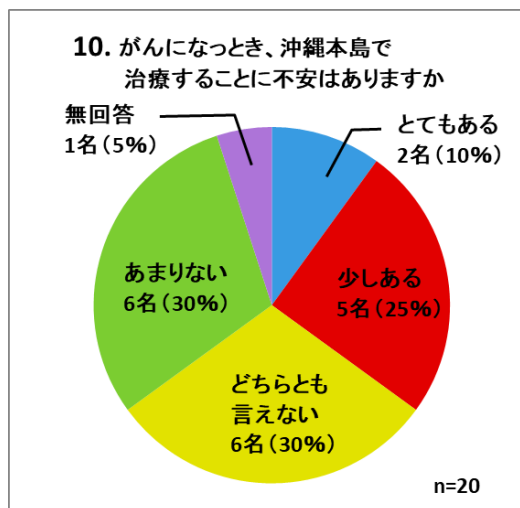
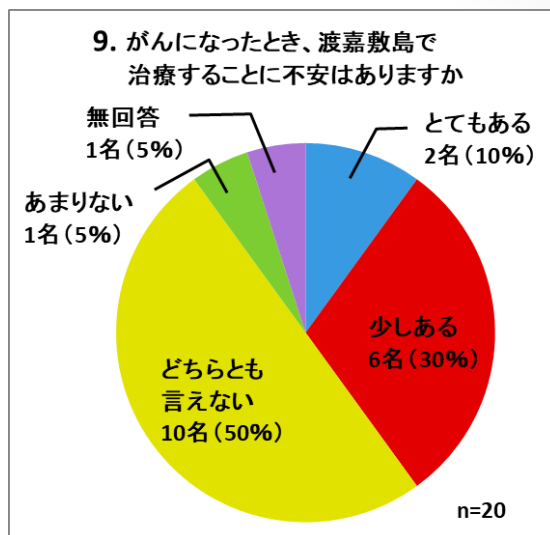
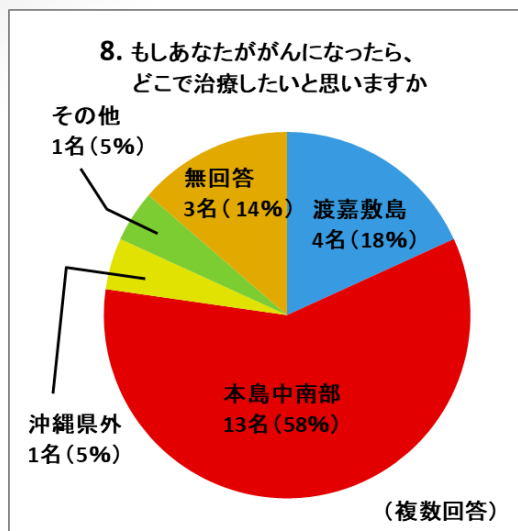


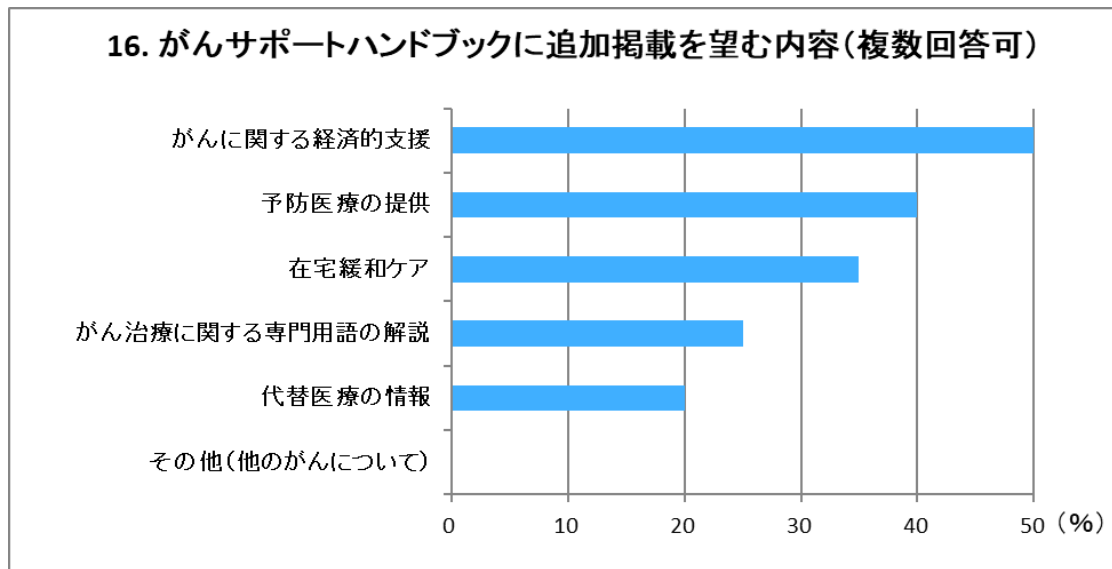
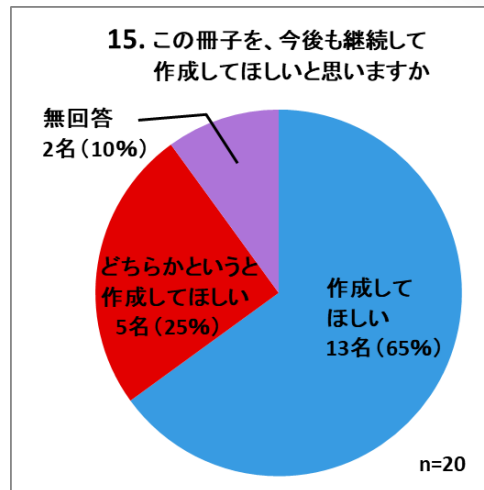
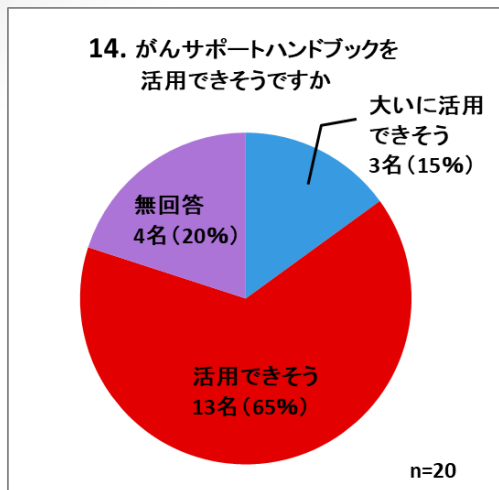
### 5. 4の理由を教えてください。

本人の意向を尊重したい為。
その時の仕事こどもの事を考えて判断すると思います。
元介護職でいろいろな家族・施設ケア、見て来てるから。
最後は本人の希望を聞いてあげたい。
本人の意思確認が先で、私のみの考えは「非常にそう思う」です。
その時の生活の状況にもよるので分からない。
本人が望むなら叶えたい。
家族と最期までいっしょにいたいので、できる限り思いをくみ取りたい。
渡嘉敷島が好きだから島外にはでたくないと思う。
本人が生まれた島を強く望んでいる。
その時の状況次第。
会議をしてない。



7. 6の理由を教えてください。
その時のキツさだったり、サポート体制によるから。
訪問看護などサービスが充実しているのであれば見看取りも可能かなと思います。
自分の状態(痛み・生活能力・自立度)と、家族の状態を考えて判断します。お金の心配もありますね。
5と一緒に(元介護職でいろいろな家族・施設ケア、見て来てるから)
自宅で迎えたい気持ちはあるが家族に負担をかけたくないので。
やはり自宅が落ち着く。
家族に迷惑をかけたくない。
迷惑をかけたくないというのが本音。
家族といっしょに過ごす時間を多くしたいのでそう思うが、ただしめいわくがかかるのであれば、病院・その他施設でもいいと思う。
みんなにめいわくをかけたくない。
家族に迷惑をかけたくない。
考えた事がない。
家族と過ごしたい。
迷惑かけたくない。
会議をしてない。





**17. 説明会の感想や、病院への要望など何かあれば自由に記載してください。**

貴重なお話をありがとうございました。明日は我が身と伺いながら健康に気をつけたいと思います。とてもわかりやすく、ききやすい講演でした。具体例をあげながらだったので、わかりやすかったです。

講演はわかりやすく良かったが資料のネットページの引用の文字が小さくて見づらい。ネット使える人はいいがそうでない人はわかりづらい。

貴重な話を聞かせていただきありがとうございました。

大変勉強になりました。お忙しい中ありがとうございました。



■ 渡嘉敷島におけるがん医療の在り方についての意見交換

（渡嘉敷村役場）

渡嘉敷村 村長

渡嘉敷村役場 総務課 課長

渡嘉敷村役場 保健師

座間味 秀勝 様

金城 満 様

尾崎 リサ 様



（県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡嘉敷診療所）

山城 啓太 先生



■がん情報及び地域がん医療説明会 もしも渡嘉敷島でがんになったら  
講演：「がん情報のさがし方勉強会 in 渡嘉敷島」  
琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人



講演：「渡嘉敷島でできるがん医療」  
県立南部医療センター・こども医療センター附属 渡嘉敷診療所  
山城 啓太 先生



質疑応答

閉会の挨拶：  
渡嘉敷村役場 民政課  
新垣 聡課長

受付時：  
手指アルコール消毒、  
検温、体調確認、連絡先





# がん治療 医師が講演

## 渡嘉敷で琉大病院がんセンター

### 「セカンドオピニオン大事」

【渡嘉敷】琉球大学医学部付属病院がんセンター主催の「もしも渡嘉敷島でがんになったら」と題した講演会が9月24日に村中央公民館で行われた。同センターの増田昌人（あきひと）センター長が罹患率やセカンドオピニオンの重要性などについて語った。

増田センター長は「日本人

男性66%、女性50%はがんになる」という統計が出ている」とのデータを紹介。「主治医やその他の医療者から情報をとことん得ること。別の医師

講演した琉球大学医学部付属病院がんセンターの増田昌人センター長（左）と渡嘉敷診療所の山城啓太医師（右）9月24日、渡嘉敷村中央公民館



の意見を聞く『セカンドオピニオン』を活用することが大事」と説明した。また無料でダウンロードできる関連書籍

の活用も合わせて推奨した。県立南部医療センター・こども医療センター付属渡嘉敷診療所の山城啓太医師も「渡嘉敷でできるがん医療について」と題して講演。「がんはまれな病気から身近な病気へと変わってきているが、早期

発見・早期治療で多くが治る時代でもある。気軽に診療所に相談しに来てほしい」と呼び掛けた。両氏は共に「生活習慣の改善や人間ドック、住民健診の受診が予防につながる」と強調した。（新垣聡通信員）